

# こんにちは 婦人会です

3月も半ばになり、寒さの中にも春を感じる頃となりました。今年も、我が家の庭には水仙の花が「風がまだ冷たいけど咲かなくちゃ」とでも囁いているように顔をそろえて元気に咲いています。そして、桜の便りもそろそろ聞こえて来ます。待望の春はもうすぐやってきますよ～。しかしながら三寒四温の時節がらどうぞご自愛くださいね。

## ～婦人会・暮らしのエッセンス～

先日、友人と出かけて食事をした時のことです。  
たわいのない会話で花が咲いていたのですが、出されたお料理の上ののってた木の芽を見て「庭のサンショウの木～」と歌い始めた友人に「違うわよ、サンシュウの木よ」という私。それって？早速インターネットで調べてみました。宮崎県椎葉村には、平家の落人達を追ってきた那須大八郎と平家の鶴富姫の悲恋伝説があり、これを基にした民謡「ひえつき節」の歌詞の一部に、♪「庭の山椒(サンシュウ)の木なる鈴かけて ヨーオーホイ～」とありました。日向地方の方言で山椒のことを「サンシュ」とか「サンシュウ」と言うそうです。サンショウが訛ってサンシュウになったのではないのでしょうか。とネットには書かれていました。ちなみに、山茱萸(サンシュユ)の木ですが、春にはとても綺麗な黄色の花が咲き、秋には赤い実をつけるそうです。なるほど！私、また一つ物知りになりました。



サンシュユの木 (インターネットより引用)

桜台婦人会  
平成22年3月21日  
第99号